

地域活性化伝道師プロフィール		分野	地域産業・イノベーション・農商工連携	◎	農・林・水産業	○
			地域医療、福祉・介護、教育		観光・交流	○
			地域コミュニティ・集落再生		環境	○
			地域交通・情報通信	◎	まちづくり	○
ふりがな		そうだ よしのぶ				
氏名		早田 吉伸				
所属	名称	広島県公立大学法人叡啓大学(兼)県立広島大学 /NPO 法人 Cut-jp				
	役職	教授 /代表理事				
連絡	住所	(非公開)	〒 -			
			-			-
	連絡先	(公開)	E-mail ysoda[アットマーク]eikei.ac.jp			
		(非公開)	TEL -		FAX -	
	連絡方法		E-Mailでお願いします			
略歴		佐賀県生まれ、大学卒業後、NEC(日本電気株式会社)に入社。地域情報化・電子行政プロジェクトの事業企画・開発、社会ソリューション、デジタルサービスにおける新事業開発、産官学連携を担当後、経営企画部門にて経営戦略、事業戦略、ブランド戦略、組織戦略に従事。 また、その間、2度の政府(内閣官房)へ出向を経験。地域活性化政策(地域再生・構造改革特区)とICT政策(電子行政、オープンデータ、デジタル戦略)を担当し、一連の政策調査・政策立案・政策実施等に従事する。 加えて、個人活動として、地域活性化のためのNPO法人Cut-jpを設立し、代表理事に就任。ソーシャルプロジェクトプロデュースを実施する。 上記の企業・行政・NPOでの実務経験をもとに、研究・教育領域に活動の場を広げ、東京大学公共政策大学院研究員、慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科講師(非常勤)等を経て、現在に至る。 現在は、県立広島大学にて地域リーダーの育成をしつつ、産学官連携のためのプラットフォームの構築に向けた活動を実施中。地域におけるDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進やSDGs等社会課題を起点とした地域における新事業創出の支援を実施中。 博士(システムデザイン・マネジメント学)。中小企業診断士。				
著作・論文等		・国内外事例分析に基づく日本型フューチャーセンターのデザイン(地域活性研究 Vol.3) ・市民参加促進に向けた先導的市民大学の特徴分析(地域活性研究 Vol.4) ・オープンデータ推進に向けた国内先進地域の特徴分析(地域活性研究 Vol.6) ・Design Workshop: collaborative Design Methodology Architecting for the Future Public Policies』(SETA APCOSE2012) ・『地域再生へのロードマップ』(共著)ぎょう				

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

取組概要	・「システム思考」「デザイン思考」の考え方をベースに、様々な社会課題を解決するためのコンセプトワーク及びその実現のための事業プロデュースを多様なフィールドを通じて実践しています。 ・中長期的なグランドデザインを描くことから、現場における「何をやったらいいかわからない」という状況の打破まで、マクロ・ミクロの課題を各ステークホルダーの方々と一緒に考え、試行し、解決に導くことをモットーにしています。 ・特にIT(情報技術)の領域においては、「利活用」「公共サービス」の視点からコンサルティングを実施し、地域活性化に向けた課題解決につなげていきます。 <取組状況> ●産業政策支援(新産業育成／環境ビジネス／イノベーション) ●地域政策支援(関係人口の創出／まちづくり／地域リーダー育成) ●ICT／デジタル政策支援(DX／スマートシティ) ●経営者／次世代リーダー育成(経済団体と連携) ●ローカルベンチャー(イノベーター)人材育成 ●新事業創出およびそのためのプラットフォームの形成		
メッセージ	社会課題が複雑化し閉塞感が漂う現在の日本ですが、こうした現状に屈することなく新しい社会デザイン、及びそれによるイノベーションの創出に皆様と取り組んでいきたいと考えています。 【Think globally, Act locally】を合言葉に、全国で頑張っている皆様をご支援させていただきます。		
関連ホームページ	https://www.eikei.ac.jp/academic/researcher/details_00304.html https://mba.pu-hiroshima.ac.jp/ja/ http://cut-jp.org/	活動エリア	全国

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。